平成３１年３月１日

英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース
第１２回会合の開催について

１．趣旨

英国のＥＵ離脱に関する政府の今後の対応について検討するために，３月１日，英国のＥＵ離脱に関する政府タスクフォース第１２回会合を開催。

２．タスクフォース出席者

議　長	西村　康稔	内閣官房副長官
副議長	古谷　一之	内閣官房副長官補（内政）
構成員		
	多田　明弘	内閣府政策統括官（経済財政運営担当）
	中島　淳一	金融庁総合政策局総括審議官
	吉田　眞人	総務省　国際戦略局長
	香川　剛廣	外務省　国際貿易・経済担当大使
	山上　信吾	外務省　経済局長
	齊藤　純	外務省　欧州局参事官
	泉　恒有	財務省　大臣官房参事官
	三浦　明	厚生労働省　医政局経済課長
	横山　紳	農林水産省　大臣官房総括審議官（国際担当）
	田中　繁広	経済産業省　通商政策局長
	吉田　晶子	国土交通省　大臣官房審議官（国際担当）
	其田　真理	個人情報保護委員会　事務局長

３．第十二回タスクフォースの概要

（１）３月１日，英国のＥＵ離脱に関するタスクフォースの第１２回会合が，議長である西村官房副長官の下，１０関係府省庁等が出席して開催された。

（２）同会合では，各府省庁等から，英・ＥＵ間の離脱交渉を始めとする，これまでの展開について得られた情報や現時点の分析について報告があり，今後の対応について検討を行った。

（３）西村官房副長官から以下のとおり述べた。

ア　英国議会での関連審議及び離脱協定案をめぐるＥＵとの調整状況に関し，依然として予断を許さない状況である。

イ　離脱期限延期の可能性も示唆されているが，仮に「合意なき離脱」になる場合，２月１日に発効した日ＥＵ・ＥＰＡは，英国に適用されなくなる。また，英国進出の日系企業の中には，「合意なき離脱」の場合には数日間操業を停止する旨表明している。

ウ　本日は，現状を踏まえ，あり得べき様々なシナリオについて検討するとともに，英国のＥＵ離脱への対応の強化の観点から，首脳間で既に一致している日英間の経済的パートナーシップの構築に向けた状況等につき，関係省庁から報告を受け，議論を行った。

（４）また，西村官房副長官から，第一に，現地の日系企業に対して，引き続き丁寧な情報の提供に努めるとともに，これらの企業が抱える懸念事項等を吸い上げるためのきめ細やかな取組を強化していくこと（特に中小企業への対応），第二に，英国及びＥＵに対しては，「合意なき離脱」の回避を改めて強く求めると

同時に，物流や労働者の雇用等の問題に関してこれまでに寄せられた日系企業の声を踏まえ，離脱に関する影響を最小化するため，来週国際貿易・経済担当大使を派遣するほか，あらゆる可能な機会をとらえ，ハイレベルからも，働きかけを強めること，第三に，「合意なき離脱」となる場合に英国に適用されなくなる日ＥＵ間の国際約束について，代わりとなる可能な措置を検討すること，また，日英間の取引に想定外の不測の事態が生じないよう必要な対策について再確認することについて指示があった。